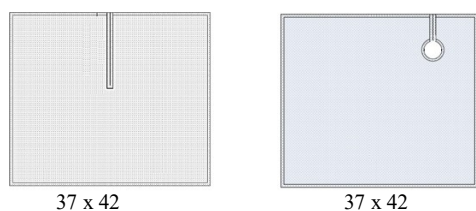


RADPAD 放射線防護シールド

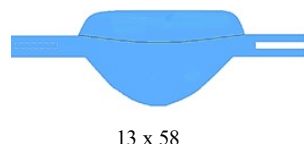
【形状・構造及び原理等】

1. 放射線防護シールド

代表形状 (単回使用・再使用禁止)



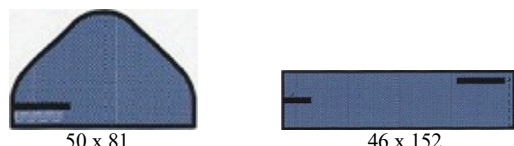
代表形状 (複数回使用可)



単位: cm

2. CT ガード用 (複数回使用可)

代表形状



単位: cm

3. 原理

X 線防護材が X 線を減衰させ、不必要な放射線被ばくから、術者等の体の一部を保護する。

4. 原材料

表地 : ナイロン、ポリエステル等
防護材: アンチモン等

5. その他の一般的名称

放射線防護用カラー (38358000)

放射線防護用帽子 (70041000)

【使用目的又は効果】

本品は、診断や治療のための医科/歯科処置における不必要な放射線被曝から患者、術者、又は他の人員の体の一部 (頸部又は甲状腺、頭部等含む) を保護するために使用する保護装置である。

【使用方法等】

放射線防護シールド

- 滅菌状態で本品を取り出し、滅菌ドレープの上に置く。
- 検査者は、本品により作り出された「影」に立つ。
- X 線透視撮影中は、手と体をシールドの背後におく。
- シールド裏の粘着テープかクリップを使って、シールドを所定の位置に固定する。
(粘着テープは患者の皮膚につけないこと。)

放射線防護シールド (甲状腺用)

- 術者の甲状腺回りに着用する。
- カバーが汚れたら新しいカバーに取り換える。
- 個人用で、防護材が損傷していなければ複数回使用できる。

放射線防護シールド (頭部用)

- 術者の頭部に着用する。
- 個人用で、防護材が損傷していなければ複数回使用できる。

CT 用ガード

- スキャンから防護する患者の部位に本品をおき、患者を包む。
- 汚染防止のため、本品と患者の間にシーツなどをおく。
- CT スキャンの視野は避ける。
- 可能な限り、患者脚部側に本品を下げ、患者を包み、生殖腺をカバーする。
- 次の患者に使用する前に清拭用布で拭く。

【使用上の注意】

- 重要な基本的注意
 - 術者と一次ビームの間に置く。
 - 一次ビームの経路に放射線防護シールドをおかない。
 - 術者は放射線防護シールドが作る影に入る。
 - 一次ビームの放射線被爆からの保護には使用しない。
 - 本品を切断しない。
 - 裂け目、損傷がある場合、その恐れがある場合は使用しない。
- その他の注意
 - 本品廃棄時には、必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

水濡れに注意し、直射日光や高温多湿、衝撃等を避けて保管すること。

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 大正医科器械株式会社

電話 06-6451-7177

製造業者: Worldwide Innovations & Technologies, Inc. (米国)